

千葉県立松戸国際高等学校 2019年度活動報告

活動分野

減災・防災、文化多様性、世界遺産・地域の文化財等、国際理解、平和、人権、ジェンダー平等、持続可能な生産と消費

本来は、国際化社会に対応しうるグローバル人材の育成を目指して、前身の千葉県立松戸東高等学校から、平成6年4月に校名を松戸国際高等学校とし現在に至っている。普通科並びに国際教養科を有し、外国人・帰国生徒等の受け入れも行き、国際交流、国際理解教育等に力を入れている。

スコスクール（ESD）活動が目指す、地球規模課題の解決のために、自ら考え行動できる人材の育成は、まさに本校の目指すところであり、本校では、ESDの成果による力を「松国力」と呼び、様々な活動に取り組んでいる。

また、本校は千葉県高等学校教育研究会ESD部会の事務局校でもあることから、県内のユネスコスクール及びESDを実践している公・私立高校、特別支援学校とも連携して、千葉大学教育学部のESD事業との共催による、ESDの研修活動を展開している。

○国際交流・国際理解教育

アメリカ短期研修（1・2年生対象、2～3月に3週間）

オーストラリア短期研修（1・2年生対象、7～8月に3週間）

台湾修学旅行（2年生対象、10月下旬に3泊4日 姉妹校交流）

* 姉妹校は、台北市・中崙高級中学校

国際理解講演会（1・2・3年生対象、10月）

* 1年：アフリカ関係 2年：UNHCR関係 3年：JICA関係

ACCU主催：インド教職員交流の受入（10月）



* インドの先生方の授業のあとで

○地域貢献活動

近隣小学校への英語出前授業（12月）

みどりの募金活動（ボランティア部）

○食育を通じた国際理解教育

世界各国の料理実習、文化祭での販売（クッキング部）

○千葉大学ESD事業への参加・協力

千葉大学ESD研究会（8月 講演、グループワーク）

* テーマ ` 共生社会について

千葉大学ESD成果発表会（2月 英語でのポスター発表）

* ポスター審査 ` 千葉大学・アセアン各国の大学の先生方



来年度の活動計画

次年度も、これまで学校が行ってきた様々な国際交流・国際理解のプログラムを実施してゆく。また、本校のユネスコスクール加盟の母体となった、「食」を通じた国際理解教育を続けてきたクッキング部の活動や、SDGsを意識して活動を展開しているボランティア部、そして地域貢献活動の中心である生徒会などの活動と、千葉大学ESD事業との連携を軸にして、学校全体にユネスコスクールとしての活動を浸透させていく。